

R S T 6分野7項目〈係り受け解析〉

係り受け解析は文の基本構造を把握する力

「係り受け解析」とは、文の基本構造である主語・述語・目的語などを把握する力です。長い文章も一つ一つの文から構成されています。そして、文は文節から構成されています。その文節同士の関係を正しく把握するのが、「係り受け解析」の能力です。

文章を論理的に読めるようになるためには、まずは文がどこで区切られるか、つまり文節が理解できなければなりません。それができたら、「何がどうした」という主語と述語の関係や修飾語と被修飾語の関係を理解しなければなりません。これが「係り受け解析」です。「係り受け解析」は、修飾節が長くなったり、並列構造が複雑になったりすると、難しくなります。

「係り」と「受け」については、例えば、「私はパスタが好きです」という文では、「私」が「好き」に係り、「好き」は「私」を受ける関係にあるという言い方をします。

まず、次のように文節に正しく区切ります。

私は学校に行く。 → 私は／学校に／行く。

文の構造を正しく認識します。

大きな黒い瞳の少女。 → 大きいのは「瞳」です。

リーディングスキルテスト（R S T）の問題

では、リーディングスキルテスト（R S T）「係り受け解析」の問題をやってみます。

以下の文を読みなさい。

水にしずむ鉄でできたボルトとナットも、鉄より密度の大きい水銀にはうかぶ。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから一つ選びなさい。

ボルトは（ ）に浮かぶ。

- ① 水銀 ② 鉄 ③ 水 ④ 氷

正解は、①の水銀です。これは、易しい問題です。次は、どうでしょう。

以下の文を読みなさい。

色やにおいで引き付けられた動物は、おしべの花粉を体につけ、別の花のめしべへと運び、植物の受粉を助ける。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから一つ選びなさい。

植物の受粉を助けるのは（ ）である。

- ① 花粉 ② 動物 ③ おしべ ④ めしべ

正解は、②の動物です。これは、普通の問題です。

「係り受け解析」の力がないと、文の基本構造を把握することができません。すなわち、意味を理解することができないのです。「係り受け解析」は、基礎的な読解力を育成するための土台にあたるものです。